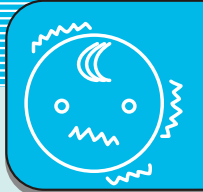


7 けいれん(ひきつけ)を 起こした時



- 神経の働きの異常興奮により、からだ全体やからだの一部がつっぱったり、ピクピクしたり、脱力したりすることです。白目になっていたり、ボヤッとした目になっていて、呼びかけても反応がなかったりします。



通常の診療時間内に受診しましょう

- けいれんが1回だけで、しかも5分以内に止まり、いったん目をあけて周囲の呼びかけに反応したり、泣いたりした時。



早めに救急外来を受診した方がいい時

- はじめてけいれんを起こした
- けいれんが5分以上続いた
- けいれんの後、1時間以上たっても反応がない(=意識が戻らない)
- けいれんの後に繰り返して吐く
- けいれんの後で意識が戻らないうちに、またけいれんが起こった
- 半日に2回以上けいれんが起こった



◆家庭で対処すること

- 目の位置、手足の状態を見て、おおよそのけいれんの持続時間を測定して下さい。(初めてのけいれんの時はあわててしまい、何も分からなくても仕方ありません。)



- 平らなところに寝かせて下さい。
- けいれんの途中やあとに吐いても、吐いたものを吸い込んで窒息することがないように、顔を横に向けて下さい。
- きつい衣服を着ていたなら衣服をゆるめてあげましょう。



◆注意すること

- 口の中に物や指を入れないで下さい。(口の中をけがしたり、歯が抜けたり、吐いた物が出口をふさいで窒息することになります。けいれんの途中で舌や唇をかむことはないので、口の中に物や指を入れてもかむことを防げません。)
- ゆすったり、たたいたりしないで下さい。
- 飲み物や飲み薬を与えようとししないで下さい。

